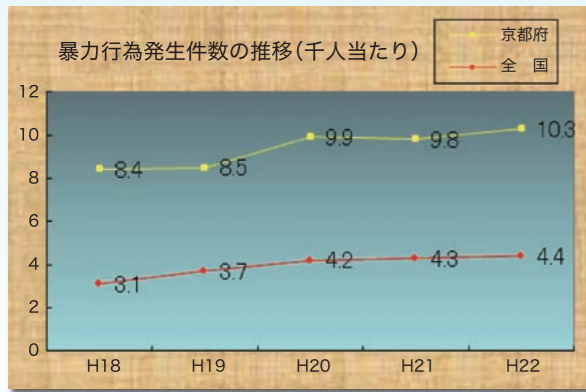
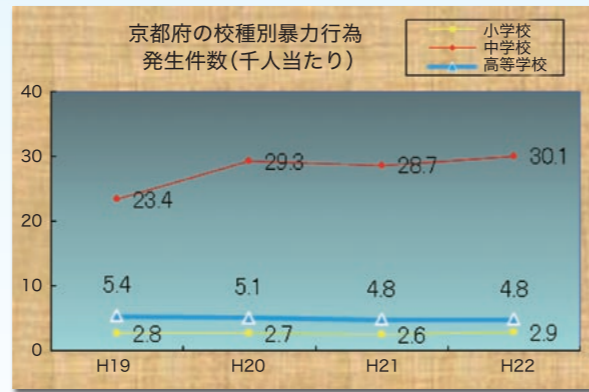


# 京都府の子どもたちの状況

## ① 暴力行為の状況



全国数値は国公私立、京都府数値は公立(京都市含む)

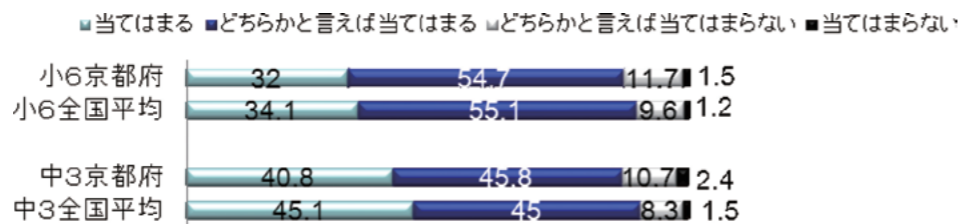


数値は公立(京都市含む)

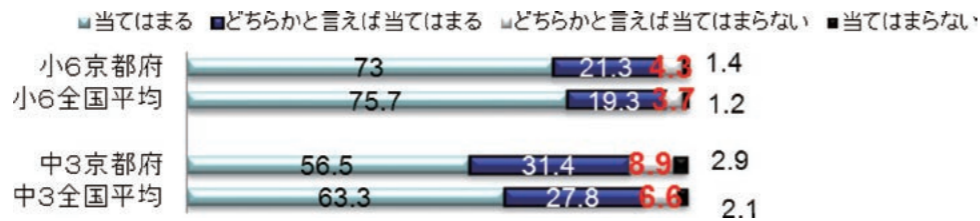
文部科学省の「平成 22 年度児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」によると、京都府の子ども千人当たりの暴力行為の発生件数は、全国平均と比べて高い状況で推移しています。また、校種別では、中学校の暴力行為が多くなっています。

## ② 子どもたちの意識

学校のきまりや規則を守っていますか？



いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか？



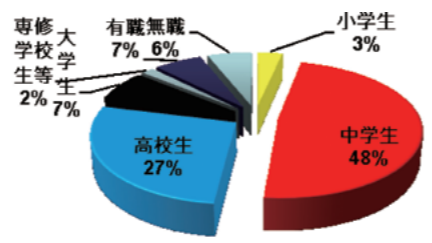
平成 22 年度の「全国学力・学習状況調査」によると、「学校のきまりを守っていますか」や「いじめはいけないことだと思いますか」という質問に対して「当てはまる」と回答した割合は、全国の小・中学校と比較してやや低い結果となっており、ルールやきまりを守るなどの「規範意識」を高める取組が重要です。

## ③ 少年非行の状況

刑法犯少年の検挙・補導状況(京都府警)

区分	H21年	H22年	H23年(暫定値)
犯罪少年(14歳以上)	2,622	2,404	2,258
触法少年(14歳未満)	432	516	515
合計	3,054	2,920	2,773

学職別状況(平成 23 年中)



京都府における刑法犯少年の検挙・補導状況については、少年千人当たりの刑法犯で検挙された少年の人口比が、全国平均より高くなっています。また、中高生で全体の 75%を占め、なかでも万引きが最も多く、初発型非行(オートバイ盗、自転車盗、万引き、占有離脱物横領)が全体の約 70%を占めています。

# 規範意識を育むために → 非行防止教室が有効

規範意識を育むためには、非行防止教室が有効です。中高生の非行を防止するためには、小学校4、5年生の早い段階で非行防止教室を実施することがより効果的です。

## 非行防止教室 Q&A

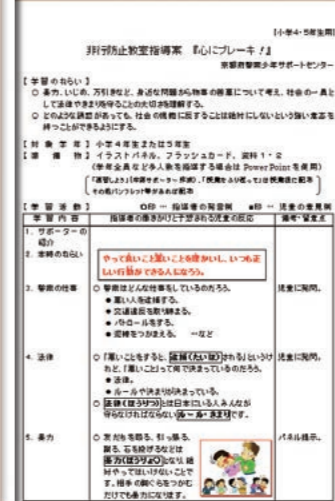
- Q: どのような非行防止教室を実施するのですか。 A: 発達段階に合わせ、フラッシュカードやパワーポイントなどの教材を活用し、わかりやすく工夫を凝らした教室を実施します。
- Q: 講義が中心ですか。 A: 講義ばかりでなく、学校の要望に応じてロールプレイングを取り入れるなど参加・体験型の教室も実施しています。
- Q: 誰が実施するのですか。 A: スクールサポーターや少年係長など経験豊富な警察職員が実施します。
- Q: ネーミングは、非行防止教室でないといけないのですか？ A: 実施者により、「心にブレーキ!」などのネーミングを使用しており、「非行防止教室」でなくても差し支えありません。
- Q: 保護者や地域の方の参観は可能ですか。 A: 可能な限り、保護者や地域の方に参観していただくことが、より効果的だと考えています。

少年サポートセンター作成の指導案

非行防止教室指導案  
【小学4年生・5年生版】



平成 23 年 10 月  
京都府警察本部生活安全部少年課  
少年サポートセンター



非行防止教室実施状況  
平成 23 年 10 月京都府教育委員会調査

	小学校	中学校	高等学校
23年度実施及び実施予定率	50%	62%	44%
24年度実施予定率	63%	73%	56%

警察と連携した非行防止教室の積極的開催を!

## ● 非行防止教室を受講した児童生徒・教師の感想 ●

- ・ 非行防止教室を受けてルールなどを守らないと他人に迷惑をかけてしまうことがよくわかりました。これからは法律やルールに気を付けていこうと思います。(小5女子)
- ・ 友達に万引きを誘われると断れるか心配だったけど、今日の教室を聞いて、断る自信がついた。(中2男子)
- ・ 今日の薬物乱用防止教室のロールプレイングを見て、断る難しさがよくわかった。言葉巧みな誘いにはついていけないと思った。(高1女子)
- ・ 小学生の早い段階から非行防止教育が必要だと感じた。(小学校教諭)
- ・ スクールサポーターの専門的な話は、今後の指導の参考になった。(中学校教諭)

